

○ 専門学校留学生担当者研修会

12月12日、一般財団法人職業教育・キャリア教育財団・全国学校法人立専門学校協会の共催により、専門学校留学生担当者研修会が東京都・アルカディア市ヶ谷において開催された。出席者は100名。

最初の講演は、法務省入国管理局入国在留課曾我哲也補佐官による「出入国管理の現状及び新しい在留管理制度について」。曾我補佐官からは、入管法改正の概要として新たな在留管理制度に関し、①制度改正の概要、②制度改正のポイント、③新しい在留管理制度における手続きの流れ、④情報の正確性を担保するための諸制度、などについて講演が行われた。

続いて、東京入国管理局留学審査部門の山田政示統括審査官が「留学生に係る出入国・在留関係等申請の実務について」をテーマに、①出入国審査、②在留審査、③在留資格取り消し制度、について講演。次に、東京入国管理局就労審査部門の横溝幸宏統括審査官が「留学生の日本企業への就職に係る実務について」をテーマに、①留学生の日本企業への就職状況、②就労資格への変更許可申請手続、③継続就職活動中に就職先が内定した留学生の取扱い、などについて講演を行った。

また、警察庁生活安全局情報技術犯罪対策課の青木篤郎課長補佐が「各種犯罪に留学生を関与させないための周知・指導のご協力について」。最後に、文部科学省生涯学習政策局専修学校教育振興室の佐藤将由専門官から「留学生の成績証明書等の偽造防止に係る注意事項等について」のテーマで、専門学校留学生に対し注意を喚起する情報提供がなされた。